

事業番号	06 02 03	事業改善シート (30年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地球温暖化適応策推進事業費		部局	環境部	課・室	環境エネルギー課
			実施期間	H27 ~	E-mail	kankyoene@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	再生可能エネルギー自給率					
総合的に展開する重点政策	4-5 地球環境への貢献					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 既に県内でも気候変動の影響が発現し始めており、気候変動の緩和策とともに適応策の推進が必要。 適応策の推進にあたっては、気候変動による幅広い分野への将来的な影響を把握していないことと、影響に応じた適応技術(施策)が開発(立案)されていないことがボトルネック。 H28年度までに、気候変動とその影響の観測、予測、情報共有を行う体制を構築。 			30年度 決算額	7,021 千円					
				職員数	3.50 人					
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 信州・気候変動モニタリングネットワークにおいて将来的な気候変動影響を把握するとともに、信州・気候変動適応プラットフォームにおいて適応技術(施策)の開発(立案)を促進することにより、気候変動の影響による県民生活や自然環境等への被害を最小化あるいは回避する。 <p>(主な実施内容: 都市・山岳部の気象観測・収集、2030年代の気候変動予測・影響分析、予測・分析結果の情報共有、適応策に係る課題の検討)</p>									
事業 コスト	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況					
	予算額	前年度繰越				No	成果指標			
		当初予算	9,583	7,942	47,895			29年度	30年度	
		補正予算	-2,483	-842			目標値	成果	達成状況	
		合計(A)	7,100	7,100	47,895	①	気候変動を予測するための気象情報の収集地点数(累計)	134地点	686地点	173地点
	Aの財源	一般財源								
		県債								
		国庫支出金								
		その他	7,100	7,100	47,895					
	決算額(B)	7,014	7,021							
概算人件費	職員数(人)	3.50	3.50	6.00						
	概算人件費(C)	28,357	28,763	49,308						
	概算事業費(B(A)+C)	35,371	35,784	97,203						
備考					成果指標 設定理由	適応策の検討には精度の高い予測が重要だが、気温、降水量などの気象情報の収集数は気候変動の予測精度の向上に大きく寄与するため。				

目標に対する成果の状況	<p>県が保有しているデータ中、得られたデータの信憑性など品質管理に問題があることが判明したため、目標としていた地点数に達しなかった。</p> <p>各部局における気候変動の影響と、対策の現状について調査を行った。</p> <p>気候変動適応法の施行を受け、関係機関と協力し、信州気候変動適応センターの設置に向けた調整を行った。</p>
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 県内各機関が保有する気象データの品質管理の手法が確立していない 研究機関が保有するデータと適応策実施主体が必要とするデータ形式が必ずしも一致していない 	環境省の環境研究総合推進費等を活用し、気象データの収集、品質管理手法を適正化するとともに、県内各主体とのコミュニケーションを通じて必要とするデータを提供するための方法論を3か年かけて確立させていく。

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1	3	地球温暖化適応策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動影響の把握のため、信州・気候変動モニタリングネットワークにおいて都市・山岳部の気象観測・収集及び2030年代の気候変動予測・影響分析を実施 適応技術(施策)の開発(立案)を促進するため、信州・気候変動適応プラットフォームにおいて、観測・分析結果の情報共有及び適応策に係る課題の検討を実施 	3.50	7,942	7,021	47,895
合計				3.50	7,942	7,021	47,895

事業改善シート附表

当初要求
 当初予算案
 補正予算案
 点検

事業番号	事業名	地球温暖化適応策推進事業費				部局	環境部	課・室	環境エネルギー課			
06 02 03												
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	29年度	30年度				
							当初 (千円)	要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)	決算 (千円)	
1	地球温暖化適応策推進事業	・気候変動影響を把握 ・適応技術（施策）の開発（立案）を促進	直接	・気候変動影響の把握のため、信州・気候変動モニタリングネットワークにおいて都市・山岳部の気象観測・収集及び2030年代の気候変動予測・影響分析を実施 ・適応技術（施策）の開発（立案）を促進するため、信州・気候変動適応プラットフォームにおいて、観測・分析結果の情報共有及び適応策に係る課題の検討を実施 ・環境保全特別研究員の配置	信州・気候変動モニタリングネットワークにおいて県内173地点の気象データを収集 国や大学等の研究機関と連携し、各分野での気候変動影響評価を実施 信州・気候変動適応プラットフォームにおいて、健康部会、防災部会を開催し、気候変動の予測や影響評価、適応策について議論 庁内の気候変動対策関連の施策を収集し、部局ごとの適応策となりうる施策について検討	計画通り ○	9,583	7,942	7,942	-842	7,021	
合 計							9,583	7,942	7,942	-842	7,021	